

「最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出伸び率15ヶ月連続プラス～」

日本機械輸出組合 2018.6.21

平成30年4月の機械輸出額は4兆4,313億円、対前年同月比7.8%増と、15ヶ月連続でプラスとなった。これは、①韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス成長となったこと、②自動車をはじめ、主要な16輸出業種がプラスとなったことなどによる。為替・営業日要因が1.4%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は9.2%増となった。平成30年5月の為替・営業日要因は4.4%の増加寄与要因となっているが、6月18日発表の貿易統計速報による簡易計算では5月の機械輸出は6.6%増であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:6兆8,223億円(前年同月比 [以下同じ] 7.8%増、17ヶ月連続プラス)
- ② 全商品輸入額:6兆1,978億円(5.9%増、再びプラス)
- ③ 貿易収支:6,246億円黒字、3ヶ月連続

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:4兆4,313億円(7.8%増、15ヶ月連続プラス)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:9.2%増(19ヶ月連続プラス)
- ② 機械輸入額:1兆8,793億円(4.7%増、14ヶ月連続プラス)

(2) 為替・営業日動向

2018年4月に1.4%の減少要因、5月に4.4%の増加要因、6月に4.6%の減少要因となる。

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾向け以外の5地域向けがプラス(図表4、5)
- ② 北米向け:4.9%増、2ヶ月ぶりプラス(図表4、5)
- ③ 中国向け:11.0%増、2ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:6.3%増、17ヶ月連続プラス(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:12.0%増、15ヶ月連続プラス(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:7.4%減、3ヶ月連続マイナス(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:17.2%増、10ヶ月連続プラス(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中16業種がプラス。そのうち6業種が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 船舶(その他地域、EU向け中心)、工作機械(中国向け中心、7ヶ月連続上位)、建設機械(北米向け中心、3ヶ月連続上位)等が大きくプラス
- ② 産業車両(ASEAN・南アジア、その他地域向け中心、3ヶ月連続上位)等も好調に輸出が継続
- ③ 受信変換・その他送受信機器等が大きくマイナス

(6) 機械輸入動向(図表14)

- ① 機械輸入額上位12機種のうち、9機種がプラス
- ② そのうち航空機・部品等、風水力機械の2機種が二桁のプラス

II トピックス

1. 台湾メーカー、中国の人件費高騰からインド生産を検討

中国の人件費高騰や米中貿易摩擦への懸念から、ペガトロンはインドに工場を建設する計画を明らかにした。アップル製品ではなく、他の通信機器の製造から始める。ホンハイや同じく台湾のEMS企業ウイストロンは、すでにインドに生産施設を有している（ホンハイは、米国でも液晶パネル生産を行う予定である）。

2. アルゼンチンの経済危機は他の新興国にも波及

アルゼンチンが経済危機に見舞われている。米国の利上げから資本流出が進み、アルゼンチン中銀は通貨防衛のために8日間で3度もの利上げを余儀なくされ、政策金利を40%に引き上げた。それでもペソ安は止まらず、マクリ大統領の要請にこたえて国際通貨基金（IMF）は500億ドルの融資に合意した。しかしながらその後もペソは乱高下を繰り返し、6月半ばにアルゼンチンの中銀総裁は辞任。現在、一時の過度の動揺は収まっているものの、不透明な状況であることに変わりはない。

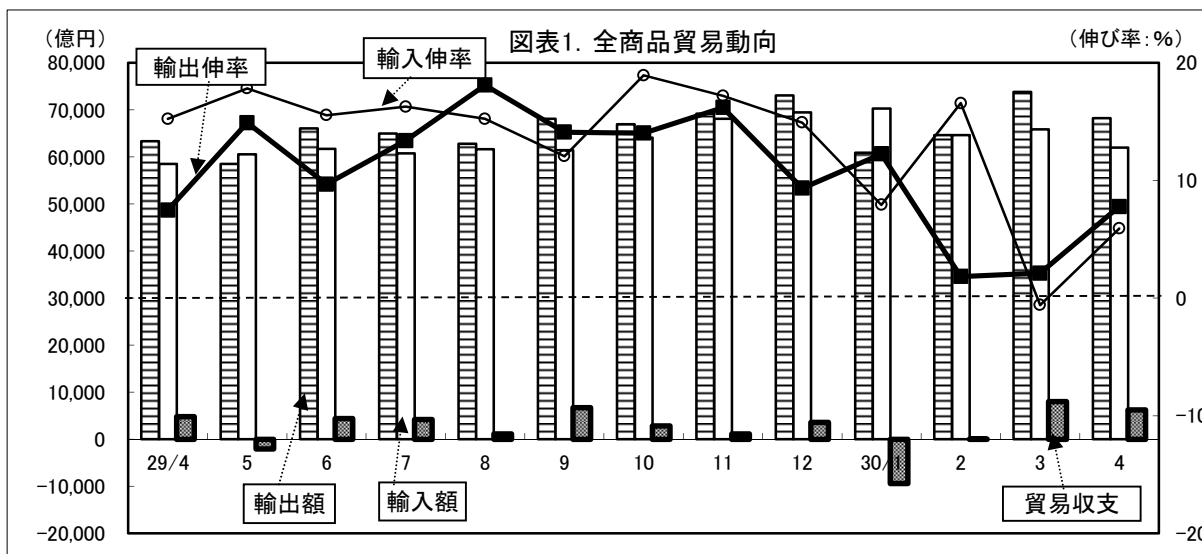
資本流出は、アルゼンチンからトルコやブラジルなど他の新興国にも広がりつつある。アジア諸国では資本流出は起きていないが、利上げに踏み切る国が多くなっている（ファンダメンタルズの良好なタイは今のところ、通貨安に見舞われていないが、インドネシアは5月に2度利上げを行い、フィリピン、インドも金利を0.25%引き上げた）。今後は、引き続きトルコ、インドネシアなど高債務国を中心に注意深く見ていく必要がある。

また、アルゼンチンは2019年に大統領選を控えているが、そのほかコロンビア、メキシコでも大統領選があり、こちらも注目される。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は17ヶ月連続プラス、輸入も再びプラスへ～

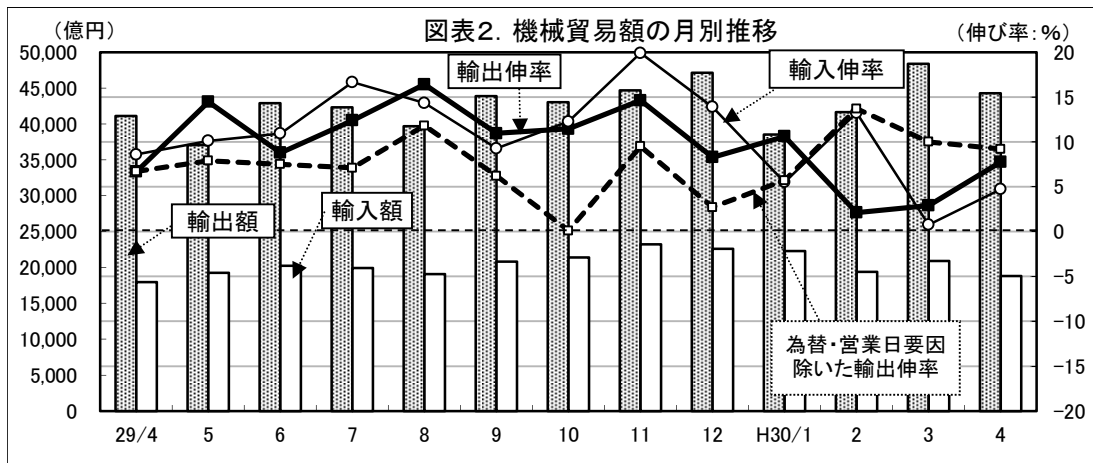
- 1) 平成30年4月の全商品輸出額は**6兆8,223億円**、前年同月比(以下同じ)**7.8%増**と17ヶ月連続でプラスとなった(3月2.1%増)。これは、全輸出額の約24%を占める輸送用機器(11.8%増)をはじめ、約21%を占める一般機械(8.6%増)、プラスチック等化学製品(5.0%増)、電気機器(4.8%増)等がプラスとなったためである。
- 2) 輸入額は**6兆1,978億円**、**5.9%増**と再びプラスとなった(3月0.6%減)。これは、全輸入額の約22%を占める原粗油等鉱物性燃料(9.7%増)が16ヶ月連続でプラスとなったほか、約10%の一般機械(14.1%増)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(9.7%増)等が大きく増加したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、約6,246億円と3ヶ月連続で黒字となった。(3月は7,970億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は15ヶ月連続、輸入も14ヶ月連続でプラス～

- 1) 全商品輸出額の約65%を占める4月の機械輸出額は**4兆4,313億円**、**7.8%増**と15ヶ月連続でプラスとなり(3月2.9%増)、その水準は、リーマンショック前(2008年4月)と比べると**94.3%**となっており、前月に比べて2.2ポイント改善した(3月92.1%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は9.2%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約30%を占める機械輸入額は、**1兆8,793億円**、**4.7%増**と14ヶ月連続でプラスとなり(3月0.8%増)、リーマンショック前(2008年4月)の水準に比べ、23.8%増となっている。

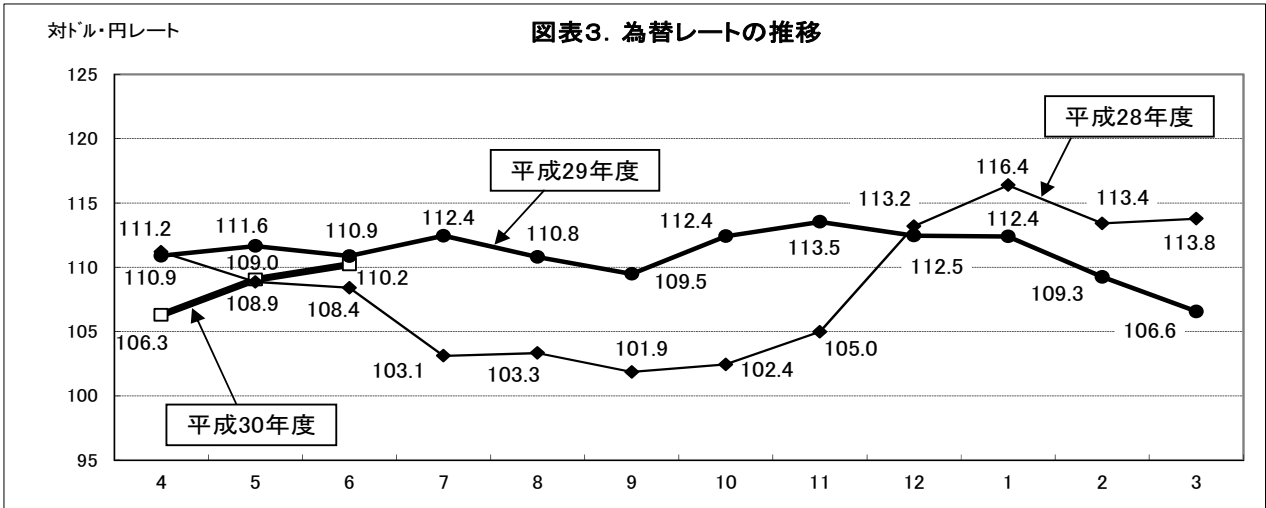


(2) 為替・営業日動向～4月は1.4%の減少要因、5月は4.3%の増加要因～

1) 2018年4月は1ドル＝106.3円となり、前年に比べ4.1%の円高となった。また、対ユーロは130.9円と前年に対して10.2%の円安となり、合わせて約1.4%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約1.4%の減少要因となる。4月の輸出額は7.8%増であったことから、実質的伸び率は9.2%増と19ヶ月連続プラスとなった(3月10.0%増)。

2) 2018年5月は1ドル＝109.0円で前年比2.3%の円高、対ユーロは131.6円で前年比8.5%の円安となり、合わせて約0.6%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合計で約4.4%の増加要因となる。

3) 2018年6月は、対ドルが6月20日17:00時点の110.2円とすれば、前年に比べて0.6%の円高、また、対ユーロは127.6円で2.7%の円安となり、合わせて約0.1%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日少ないため、約4.5%の減少要因となり、合計で約4.6%の減少要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾向け以外の5地域向けがプラス～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の24.9%を占める最大輸出先の北米向けでは、産業機械(1.3%減)や航空機部品(13.2%減)等が減少したものの、全体の約52%を占める自動車(8.1%増)をはじめ、軽電気機械(14.8%増)、建設機械(28.8%増)等が大きく増加して4.9%増となった。②22.1%を占める中国向けでは、産業機械(42.4%増)、自動車(4.4%増)、電子デバイス(4.2%増)等が増加して11.0%増となり、③14.6%のASEAN・南アジア向けは、インドネシア(45.4%増)、インド(31.0%増)等が大きく増加し、業種では、自動車(8.8%増)、産業機械(16.0%増)、電子デバイス(7.1%増)等がプラスとなり、6.3%増となった。④13.0%を占めるEU向けは、産業機械(5.4%減)がマイナスとなったものの、約36%を占める自動車(16.7%増)、船舶(2.3倍)、軽電気機械(28.4%増)等がプラスとなって12.0%増となり、⑤9.4%を占める韓国・台湾向けは、電子デバイス(5.2%増)、自動車(4.4%増)がプラスとなったものの、産業機械(21.7%減)等が大きく減少して7.4%減となった。⑥16.0%のその他地域向けでは、大洋州(28.1%増)、アフリカ(16.4%増)、中南米(12.9%増)、中近東(12.3%増)等向けが二桁のプラスとなり、機種では、自動車(14.1%増)、船舶(56.3%増)、重電気機械(51.1%増)等が大きく増加して17.2%増となった。

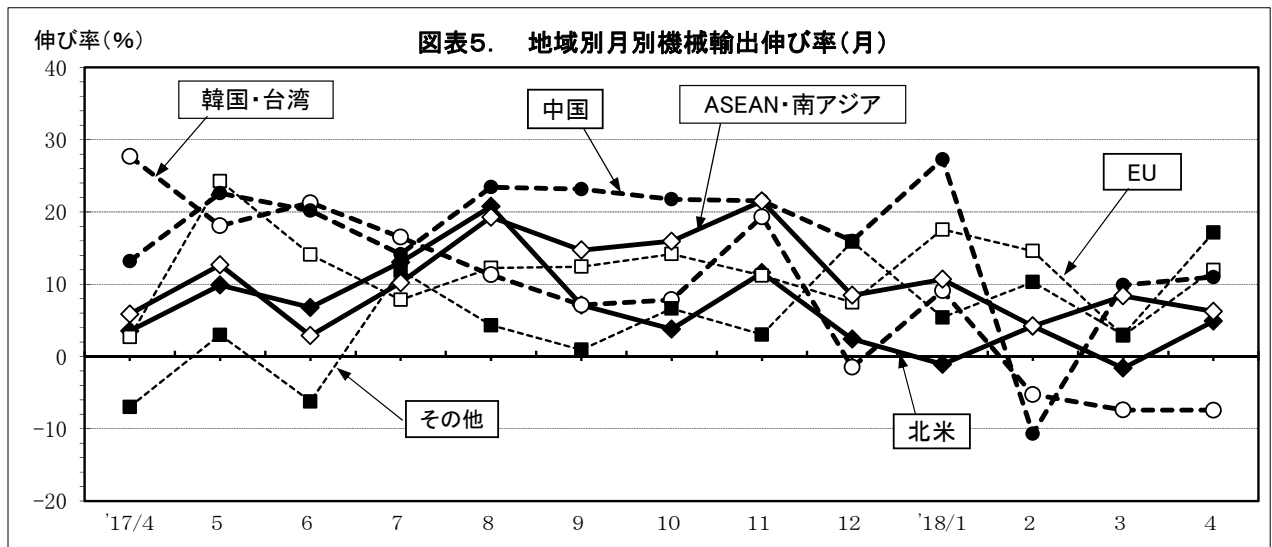
2) また、リーマンショック前の2008年4月の地域別輸出額と比較すると、中国、ASEAN・南アジア、北米向けが100%を超え、韓国・台湾向けが80%台、その他地域、EU向けが70%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2018/2			2018/3			2018/4			対08年 4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	41,672	2.1	100.0	48,412	2.9	100.0	44,313	7.8	100.0	0.94
北米	10,792	4.2	25.9	11,456	▲ 1.6	23.7	11,039	4.9	24.9	1.03
中国	7,932	▲ 10.7	19.0	10,699	9.9	22.1	9,800	11.0	22.1	1.16
ASEAN・南アジア	6,154	4.2	14.8	7,348	8.4	15.2	6,482	6.3	14.6	1.04
EU	5,563	14.6	13.4	5,763	2.9	11.9	5,747	12.0	13.0	0.73
韓国・台湾	4,224	▲ 5.2	10.1	4,861	▲ 7.4	10.0	4,152	▲ 7.4	9.4	0.89
その他	7,007	10.3	16.8	8,285	3.0	17.1	7,094	17.2	16.0	0.78

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

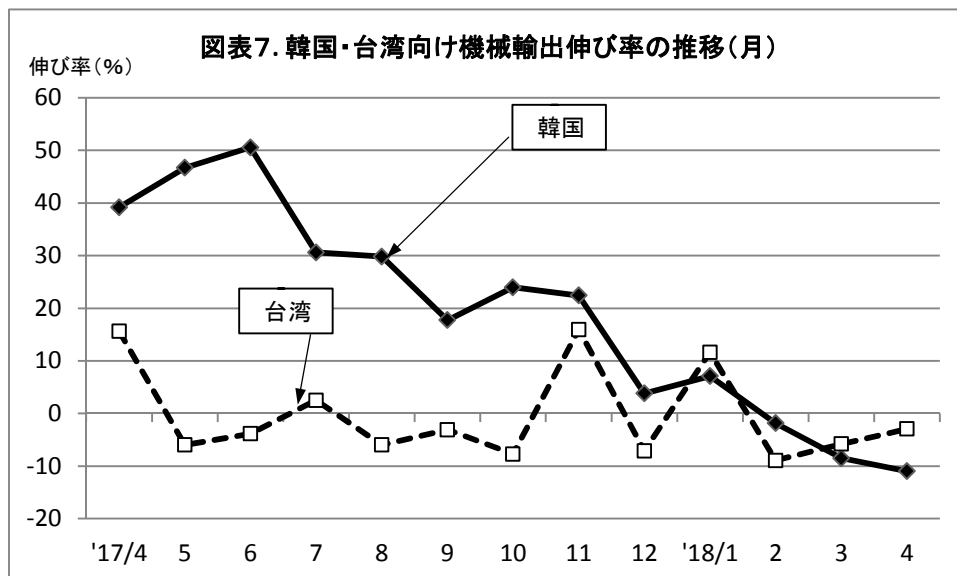


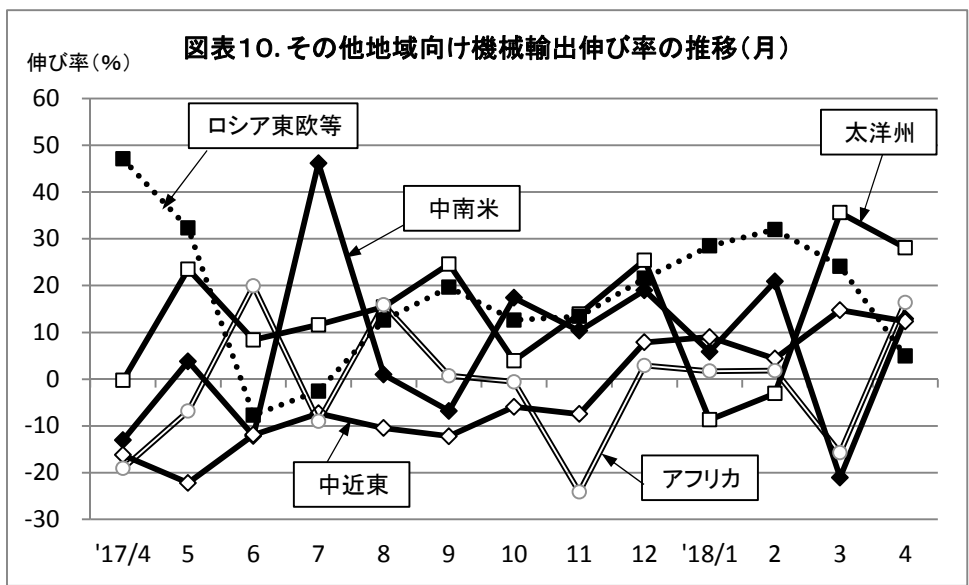
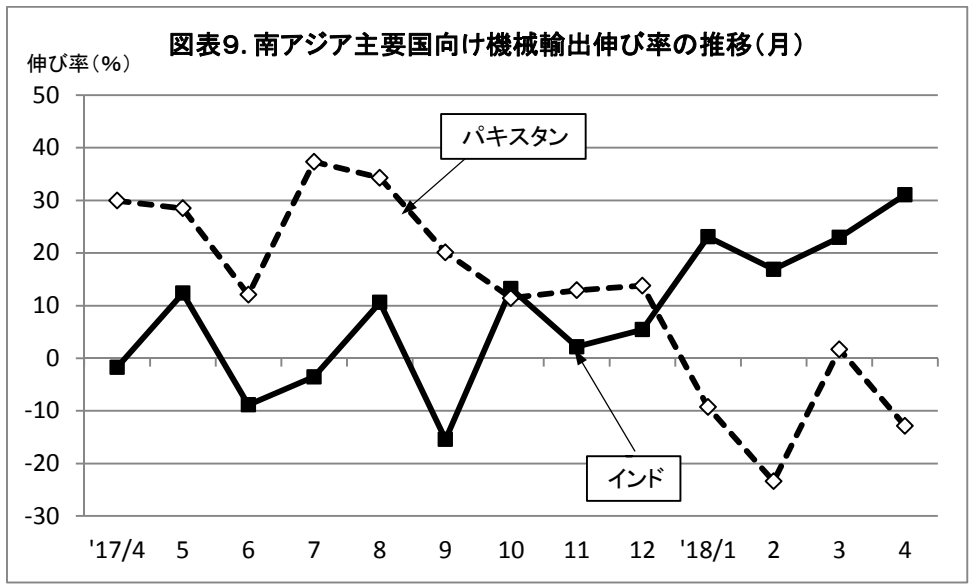
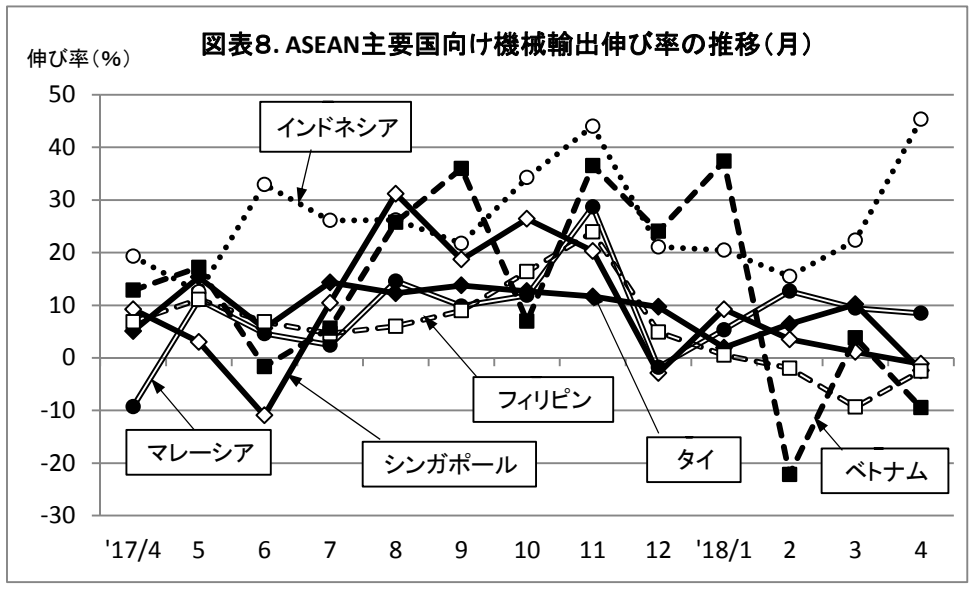
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位: 億円, %)

国名	2018/1		2018/2		2018/3		2018/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	2,214	▲ 13.1	2,276	▲ 1.9	2,782	▲ 8.5	2,227	▲ 11.0
台湾	1,830	▲ 23.5	1,948	▲ 8.9	2,079	▲ 5.8	1,925	▲ 3.0
ASEAN・南アジア								
タイ	1,337	▲ 17.4	1,581	6.4	1,785	10.2	1,574	▲ 2.4
シンガポール	1,045	7.4	913	3.5	1,128	1.1	1,000	▲ 1.1
インドネシア	739	15.0	820	15.5	997	22.3	976	45.4
マレーシア	552	▲ 19.3	674	12.7	802	9.4	674	8.5
フィリピン	519	▲ 20.3	634	▲ 2.0	698	▲ 9.4	659	▲ 2.5
ベトナム	658	▲ 13.1	594	▲ 22.2	732	3.8	639	▲ 9.5
インド	431	▲ 9.2	492	16.9	671	22.9	499	31.0
パキスタン	98	▲ 45.6	108	▲ 23.4	176	1.7	164	▲ 12.9
その他地域								
中南米	2,266	38.6	2,140	20.9	2,324	▲ 21.0	2,163	12.9
中近東	1,547	▲ 12.3	1,756	4.4	2,294	14.8	1,577	12.3
大洋州	1,134	14.3	1,350	▲ 3.1	1,664	35.6	1,540	28.1
ロシア東欧等	994	26.2	1,251	32.0	1,250	24.1	1,238	5.0
アフリカ	633	37.5	463	1.8	636	▲ 15.7	522	16.4

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中16業種がプラス。うち自動車、船舶等6業種が二桁の増加～

- 1)業種別では、自動車(10.3%増)、産業機械(7.0%増)をはじめ16業種がプラスとなり、前月に比べて3業種増加した。そのうち、自動車、船舶(29.0%増)、建設機械(21.8%増)をはじめ、6業種が二桁の伸びとなり、機械全体では7.8%増となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、鉄道車両、軽機械、医療機械、ベアリング、産業機械等9業種となった(3月は12業種)。他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

2018/2			2018/3			2018/4			対08/4 比
業種名	金額	伸び率 シェア	業種名	金額	伸び率 シェア	業種名	金額	伸び率 シェア	
自動車	15,775	10.6	自動車	16,478	4.5	自動車	15,793	10.3	0.95
産業機械	7,581	▲6.1	産業機械	9,588	8.6	産業機械	8,219	7.0	1.11
電子デバイス	2,957	▲4.5	電子デバイス	3,428	4.3	電子デバイス	3,373	4.2	0.89
軽電気機械	1,985	▲8.1	軽電気機械	2,671	▲0.5	軽電気機械	2,465	4.3	0.98
重電気機械	1,896	▲2.7	重電気機械	2,354	6.9	重電気機械	2,191	9.1	1.08
軽機械	1,577	▲1.8	軽機械	1,906	7.4	軽機械	1,711	4.8	1.24
建設機械	1,270	12.6	船舶	1,667	▲32.9	船舶	1,606	29.0	0.90
民生用電子機械	1,258	▲8.9	建設機械	1,514	12.3	建設機械	1,423	21.8	0.95
光学機械	1,118	▲10.9	民生用電子機械	1,468	▲5.7	民生用電子機械	1,370	▲4.0	0.42
船舶	1,099	▲1.4	光学機械	1,377	▲6.8	光学機械	1,181	▲11.7	0.97
航空機部品	878	31.2	工作機械	1,177	39.5	工作機械	830	24.3	1.07
工作機械	841	42.2	航空機部品	746	▲10.2	航空機部品	630	▲10.6	1.68
通信機械	529	▲5.1	通信機械	597	▲11.8	通信機械	573	2.8	0.68
医療機械	497	2.6	医療機械	578	7.2	陸用内燃機関	443	14.8	1.02
ベアリング	396	▲0.2	陸用内燃機関	504	11.2	医療機械	432	8.8	1.20
陸用内燃機関	393	▲3.7	ベアリング	472	3.5	ベアリング	426	7.3	1.20
電子計算機	382	▲15.4	電子計算機	425	▲11.7	電子計算機	374	▲10.6	0.38
繊維機械	223	▲5.2	繊維機械	271	20.6	繊維機械	200	0.1	0.79
農業機械	208	12.7	農業機械	236	8.0	農業機械	198	4.6	0.83
鉄道車両	140	0.7	鉄道車両	144	▲11.2	産業車両	129	13.6	0.55
産業車両	127	12.8	産業車両	140	16.0	鉄道車両	128	▲2.2	1.50
21業種合計	41,130		21業種合計	47,741		21業種合計	43,697		0.94

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・**産業機械**:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・**民生用電子機械**:デジカメ、TV、部品 ・**電子計算機**:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・**軽機械**:試験・検査機、理化学用機器
 ・**軽電気機械**:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・**光学機械**:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・**通信機械**:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～船舶、工作機械、建設機械等が大幅増、受信変換・その他送受信機器等が大幅減～

- 1)10%以上の伸び率を示した機種のうち上位10機種は、①その他地域、EU向け**船舶**(29.0%増)、②中国向け**工作機械**(24.3%増)、③北米向け**建設機械**(21.8%増)、④北米、中国向け**電池**(19.0%増)、⑤中国、EU向け**電動機**(18.7%増)、⑥中国、韓国・台湾向け**半導体製造装置**(18.0%増)、⑦中国、北米、韓国・台湾、ASEAN・南アジア向け**電気・電子計測器**(17.8%増)、⑧北米、その他地域向け**乗用車**(16.1%増)、⑨北米、中国向け**陸用内燃機関**(14.8%増)、⑩ASEAN・南アジア、その他地域向け**産業車両**(13.6%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、受信変換・その他送受信機器(21.4%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

2018/2			2018/3			2018/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	841	42.2	工作機械	1,177	39.5	船舶	1,606	29.0
航空機部品	878	31.2	電動機	220	24.9	工作機械	830	24.3
乗用車	9,805	17.9	原動力機械	694	23.6	建設機械	1,423	21.8
産業車両	127	12.8	繊維機械	271	20.6	電池	516	19.0
農業機械	208	12.7	半導体製造装置	2,738	16.8	電動機	190	18.7
建設機械	1,270	12.6	その他の重電気機器・部分品	561	16.0	半導体製造装置	2,324	18.0
電池	212	10.6	産業車両	140	16.0	電気・電子計測器	471	17.8
機種合計	13,341	*32.0%	建設機械	1,514	12.3	乗用車	9,547	16.1
			TV	122	12.3	陸用内燃機関	443	14.8
			陸用内燃機関	504	11.2	産業車両	129	13.6
			機種合計	7,941	*16.4%	機種合計	17,481	*39.4%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、ルーター等 受信変換・その他送受信:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

理化学用機器:物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機:業務用モーター

その他の光学機器:レーザー、半導体検査装置等 その他の重電気機器・部分品:重電機器部分品、交通管制用機器

図表13. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円、%)

2018/2			2018/3			2018/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
発電機	54	▲ 44.0	船舶	1,667	▲ 32.9	受信変換その他送受信機器	111	▲ 21.4
原動力機械	410	▲ 28.8	通信機械部分品	191	▲ 20.3	その他の光学機器	973	▲ 14.6
時計	63	▲ 27.6	受信変換その他送受信機器	164	▲ 19.9	デジカメ・ビデオ	311	▲ 13.6
電気・電子計測器	393	▲ 21.8	磁気カード・ディスク等	144	▲ 18.8	磁気カード・ディスク等	127	▲ 12.8
金属加工機械	249	▲ 20.5	デジカメ・ビデオ	329	▲ 16.4	産業用ロボット	200	▲ 12.7
デジカメ・ビデオ	269	▲ 18.4	電気・電子計測器	485	▲ 14.5	航空機部品	630	▲ 10.6
受信変換その他送受信機器	126	▲ 17.2	発電機	66	▲ 13.3	電子計算機	374	▲ 10.6
磁気カード・ディスク等	127	▲ 15.8	電子計算機	425	▲ 11.7	配電機器	520	▲ 7.7
電子計算機	382	▲ 15.4	鉄道車両	144	▲ 11.2	風水力機械	746	▲ 5.9
印刷・製本機械	756	▲ 14.3	航空機部品	746	▲ 10.2	写真機の部分品・附属品	129	▲ 3.8
機種合計	2,829	* 6.8%	機種合計	4,361	* 9.0%	機種合計	4,121	* 9.3%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～自動車部品、航空機・部品等、配電機器が大きくプラス～

- 1) 4月の機械輸入伸び率は4.7%増と14ヶ月連続でプラスとなり、上位12機種のうち9機種がプラスとなった。そのうち航空機・部品等(12.6%増)、風水力機械(15.2%増)の2機種が二桁のプラスであった。上位12機種のうち、マイナスとなったのは、携帯電話(4.1%減)、受信変換・その他送受信機器(11.8%減)、その他の配電制御装置(0.8%減)の3機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、配電機器、受信変換その他送受信機器、時計、TVの9機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の39%を占める中国(2.1%増)、ASEAN・南アジア(6.8%増)、EU(14.8%増)、北米(1.4%減)、韓国・台湾(7.3%増)、その他地域(2.9%増)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位: 億円、%)

2018/2				2018/3				2018/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,976	▲ 0.5	10.2	電子デバイス	2,237	▲ 3.6	10.7	電子デバイス	2,132	5.4	11.3
電子計算機	1,871	6.3	9.7	電子計算機	2,136	0.5	10.2	電子計算機	1,704	0.1	9.1
携帯電話	1,343	33.0	6.9	乗用車	1,337	44.4	6.4	携帯電話	1,253	▲ 4.1	6.7
自動車部品	1,134	20.6	5.9	航空機・部品等	1,244	26.1	6.0	自動車部品	1,064	8.0	5.7
乗用車	882	5.7	4.6	携帯電話	1,190	1.4	5.7	乗用車	1,007	3.4	5.4
航空機・部品等	828	▲ 11.5	4.3	自動車部品	1,114	▲ 7.0	5.3	航空機・部品等	948	12.6	5.0
白物家電	677	31.8	3.5	医療機械	719	▲ 7.3	3.4	白物家電	713	0.1	3.8
医療機械	674	5.3	3.5	白物家電	665	▲ 14.3	3.2	医療機械	633	2.7	3.4
配電機器	570	21.5	2.9	半導体製造装置	560	38.1	2.7	配電機器	548	9.6	2.9
受信変換その他送受信	513	▲ 10.4	2.6	配電機器	553	▲ 10.1	2.6	受信変換その他送受信	445	▲ 11.8	2.4
半導体製造装置	383	15.9	2.0	受信変換その他送受信	534	▲ 13.9	2.6	その他の配電制御装置	369	▲ 0.8	2.0
その他の配電制御装置	364	10.8	1.9	その他の配電制御装置	379	▲ 10.6	1.8	風水力機械	349	15.2	1.9
12機種合計	11,215		57.9	12機種合計	12,668		60.7	12機種合計	11,165		59.4

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器: ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等